

令和8年度

# 事業計画書

自 令和8年4月 1日

至 令和9年3月31日

公益財団法人 多田清文化教育記念財団

# 令和 8 年度事業計画書

## 1. 令和 8 年度事業の実施方針

令和8年度は、勝山市が市内中学校を統合し、新たな中学校が誕生します。これに合わせて勝山市との連携共催展は、学校教育に観点を置いた企画展の開催を予定しております。主に近代から現代にかけての教育を勝山市ゆかりの人物と共に展示解説を行います。より深く勝山市の教育について知っていただけるように計画しています。

また今年午年という事もあり、奥越は馬産地としても知られ、福井県の馬産のほとんどは大野市と勝山市が担っていました。また福井県で初めて競馬が行われたのは勝山市の小舟渡の橋下でした。昨今の馬ブームに合わせて、馬にちなんだ小規模な企画展も開催予定です。多くの人にご来場いただき、皆様に知っていただけたら幸いです。

その他例年通り勝山市連携施設補助金事業として、第21回絵画作品展「勝山とお城を描こう」が開催されます。この事業は勝山や大野だけでなく全国各地の方々からも応募が来る事業です。入賞した作品たちは当館及び市内のショッピングセンターに展示いたします。また昨年も行いました松村前館長から引き継いだ30年前の絵画展作品を展示する「時の箱絵画展」を今年も開催します。昨年も多くの来館者に当展覧会に足を運んでいただき、ご好評をいただきました。今年も多くの来館者にお楽しみいただけたらと考えております。

今年勝山市の変革期として様々なことがあります。教育管理施設の移動、中学校の統一、これらに対応してさらなる市との連携強化に繋げられるように努めてまいります。他に貸館事業としては、ピアノ発表会などの申込を受け開催を予定しています。博物館を支えてくださる人たちへの還元となるよう、勝山城博物館としても活動していく所存でございます。

昨年学芸員が入職して、3年目に入ります。それぞれが当館の業務にも慣れ、各自で作業ができるようになってきました。勝山市との連携を取りつつ今後も当館の発展や勝山市の発展に尽力していく所存でございます。

勝山城博物館では、観光にも力を入れ勝山市の指針でもあるインバウンドに対しても積極的に対応を行ってまいります。その他SNSなどの広報活動へも精力的に活動を行っていきたいと考えております。

## 2. 事業の概要

### (1) 主な事業

#### ① 勝山城ミニ企画特別展

##### 「かつや馬大賞展」(仮称)

日程 令和8年5月1日(金)～6月21日(日)(予定) (水曜通常休館)

今年は午年ということで、馬にちなんだ展示を行います。特に奥越は馬産地として有名で、多くの馬を輩出していました。盛んな馬産は一時には県内の約9割を占めていたといえます。また馬産と同時に競馬の開催地としても大いに盛り上がっていました。京福電鉄の出資の元に建設された小舟渡遊園地と並立する形で作られた小舟渡競馬場、またそれを受け継いだ大野の篠座競馬場は当時にしても大変に繁盛していたといえます。競馬という行事は過去には、天皇の御前で行われた儀式の一環でした。近代に入ると列強の影響を受け、馬匹の強化という名目に代わり、近年行われているような形式となりました。そのような流れを勝山の馬産の歴史と共に解説していきます。

#### ② 勝山市・勝山城博物館連携第12回共催特別展

##### 「近世以降の勝山の教育」(仮称)

日程 令和8年8月1日(土)～10月25日(日)(予定) (水曜通常休館)

幕末に秦魯齋の建言により作られた勝山藩の藩校成器堂は、漢籍を始めとして多くの資料が残されています。共催展の開催にあたり、市と協力してこれら資料の再調査を行いました。この成果を始めとして、江戸時代の勝山では、どのような教育が行われていたのか。どのような人々が学んでいたのか。これらを、勝山に残された資料からご紹介します。

また、日本初めての女性教師となった谷沢たまや西脇呉石などの勝山の近代教育に関する人物についての資料も展示いたします。

勝山市との連携を深め、当館で保管している西脇呉石資料の有効活用に向けた取り組みの一助につながる展示となればと考えております。

#### ③ 勝山市・勝山城博物館連携

##### 第21回絵画作品展「勝山とお城を描こう」

##### 第2回絵画作品展「時の箱絵画展」

日程 絵画作品募集期間 令和8年8月9日(日)～10月9日(金)

表彰式 令和8年11月3日(火・祝) 2階障壁画ホール

展示会 令和8年11月3日(火・祝)～11月23日(月・祝)

(水曜通常休館)

この絵画展は奥越地区に根付き、長年の積み重ねが評価されて継続事業として続いています。今日、少子化、また、小学校の宿題の量の減少により出品数は減ってきておりますが、勝山の魅力、お城の魅力をより多くの方々に見て感じていただき、出品数が増えることに繋げていきたいと考えておりま

す。県外からの応募もある本企画は、子供から大人まで気軽にご応募でき、展示会には毎回多くの親子連れに足を運んでいただいております。未来の来館者にも繋がるイベントと位置付けています。また昨年に引き続き 30 年絵画展「時の箱絵画展」を開催いたします。平成 8 年 5 月に勝山城博物館「勝山城を描こう！」写生大会において描かれ、出品された作品は当館に保管され、30 年後の 2026 年に開封し展示、時の箱絵画展を開催する運びとなりました。昨年と同様に多くの来館者にご観覧いただけたと考えております。

## (2) 主な貸館事業

### ① ピアノ発表会の開催

期間 6 月 21 日  
会場 2 階障壁画ホール  
主催 齋藤ピアノ教室

例年通り齋藤ピアノ様主催の元、ピアノの演奏発表会を行います。

この他にも毎年ピアノ発表会 2 件、コンサート 1 件、茶会研修会 1 件を開催しています。今後も随時当館の文化・教育事業に相応しいイベントでの利用を働きかけるとともに、貸館の申し込みを受け付けます。

## (3) 学芸活動

① 市の教育会館の大規模改修事業に伴い、さらなる市文化財の収蔵庫入庫作業を行います。専用の防虫剤・調湿剤の設置、除湿器及び加湿器の適切な稼働、さらには日々の清掃によって史料の保存に努めます。

また、令和 7 年 3 月 31 日をもってエキヒューム S (燻蒸ガス) が販売終了となったため、当面の間 IPM (Integrated Pest Management) による管理を行い、文化財の保存維持に努めます。

② 調査研究活動では、引き続き研究会や所属学会への参加を通じて各地の学芸員や研究者との繋がりを確保し、また、勝山市との連携協力や日本博物館協会の全国大会にも参加することで、館としても県内外の機関のネットワークに確実に認知されるよう活動してまいります。

どのような博物館であるかを知っていただくことで、作品貸し出しやその使用料収益、ひいては来館者増にもつながるものと考えております。

③ 平常展示では、館内設備の劣化や不足、地球環境の変化に伴う気温上昇で室温や湿度といった展示における重要なパラメーターが一定を保つことができない状態の中で、3 階平常展示室において展示作品の保存と展示を考え、3 階展示会場に空調設備を考えております。

また、作品保護のために定期的な入替えを実施します。甲冑類は原則そ

のままに、絵画、装束と刀剣の入替えをメインといたします。刀剣・銃砲類のメンテナンスや4階中国刺繍作品の入替えや西脇呉石作品の入替えもできるだけ行ってまいります。県内の刀剣協会・書道団体にも当館の展示室をアピールして参ります。

さらに、当館にある左義長櫓(1903年製 下袋田区)は市指定文化財になった場合、300年以上の歴史をもつ勝山左義長まつりと共に活用される文化財として紹介していきたいと考えております。

- ④ 館蔵品では、館蔵品コレクションのメンテナンスを考え、武具甲冑の専門家や絵画専門家に修復や保存のためのアドバイスを受けようと考えています。多田清氏よりご寄贈頂いた屏風作品は経年劣化に伴う破損が目立ち、修復も今後検討しなければならないと考えております。
- ⑤ 共催特別展では、勝山市の職員と連携して展覧会を企画してまいります。連携の名を冠するに恥じないレベルの展覧会の質を維持するとともに、博物館にあまり来られない方々や子どもにも分かりやすくインバウンドに対応した展示方法を模索いたします。

#### (4) 勝山城友の会活動

- ① 総会・講演会の開催 4月下旬
- ② 館外研修旅行 5月13日(水)(岐阜県海津市)
- ③ 友の会だより第33号の編集・発行
- ④ 左義長太鼓演奏会や講演会など各種行事
- ⑤ 博物館事業の作業補助

#### (5) 広報活動

主な事業について、各種マスコミでの報道、ポスターやチラシの郵送・配布を行います。勝山市との共催事業については「広報かつやま」への紹介や、チラシの配布などもご協力いただく予定です。また、当館ホームページ及びSNSを利用し、インターネットを通じた情報発信にも引き続き努めるほか、共催特別展、絵画展では新聞折り込みや広告の掲出も検討いたします。

### 3. 財団運営に関する会議の開催

- (1) 定時及び臨時理事会の開催 2回  
(事業計画(案)・予算(案)、事業報告・決算、その他)
- (2) 定時及び臨時評議員会の開催 2回  
(事業計画(案)・予算(案)、事業報告・決算)